



2022年10月31日

各位

会社名 住友理工株式会社
代表者名 執行役員社長 清水 和志
(コード: 5191 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先責任者 決算税務部長 佐藤 剛司
(TEL. 052-571-0200)

第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2022年8月1日に公表しました2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の実績値との差異が発生しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異(2022年4月1日~2022年9月30日)

	売上高	事業利益※	営業利益	税引前利益	四半期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益	基本的1株当たり四半期利益
前回発表予想(A)	百万円 252,000	百万円 △1,700	百万円 △2,200	百万円 △2,500	百万円 △4,800	百万円 △5,100	円 銭 △49.12
実績値(B)	255,609	△894	△1,621	△1,572	△4,209	△4,794	△46.17
増減額(B-A)	3,609	806	579	928	591	306	—
増減率(%)	1.4	—	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	208,371	102	△117	△481	△2,570	△3,480	△33.52

※事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、持分法による損益を含めて算出しております。

2. 差異の理由

2023年3月期第2四半期連結累計期間につきましては、原材料高騰、輸送費の上昇など、事業環境は厳しい状況下にありましたが、経費支出の抑制、原材料価格高騰分の一部売価反映などにより、事業利益以下の各利益項目は、前回発表の予想値を上回りました。

2023年3月期の通期業績予想につきましては、足下の客先減産、サプライチェーンの混乱など不透明な要素を踏まえ、前回公表数値の据え置きといたします。今後、業績予想を修正する必要がある場合には速やかに公表いたします。

以上